

第4学年2組 算数科学習指導案

令和5年5月25日(木) 第3時限 教室

- 1 単元 垂直・平行と四角形(本時9/14)
- 2 本時の目標
定義や性質を基に平行四辺形のかき方を考え、工夫してかき、説明することができる。
(思考力、判断力、表現力等)
- 3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
つかむ (5)	<p>1 四角形の図形の中から平行四辺形を探す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>□ あう□ の辺が □ になっている四角形。</p> <p>□ あう□ の□ と□ の□ は等しい。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に挙手した児童を指名し称賛する。 ・児童の発言内容を□に記入し、平行四辺形の定義について確認する。
ふかめる (35)	<p>2 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>平行四辺形は、どんなふうにかいたらいいだろう</p> </div> <p>3 チームで問題と同じ形の平行四辺形のかき方を考える。【かかわり合いⅠ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな道具を使えばかけるのだろう。 ・長さを測っただけではかけないかな。 ・長さや角度を測るとかけそうだね。 <p>4 チームで意見を出し合い、自分たちで考えた平行四辺形のかき方をカードにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チームに人数分の平行四辺形がかかれた図を渡す。この平行四辺形と同じ図をかくように指示する。 ・作図に必要な長さや角度を考慮することができるよう、長さや角度を記入していない図を配付する。 ・机間指導をし、作図が進まないチームには、最初に一つの辺をかくとよいことを助言する。
ふりかえる (5)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> </div> <p>5 活動4のカードを使ってクラス全体に伝える。【かかわり合いⅡ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つの角をかいて長さを測り、平行線を2組かいたらできた。 ・向かい合う辺は同じ長さだから、コンパスを使ってかいたよ。 <p>6 本時の授業で出た平行四辺形のかき方から一つ選択してかく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平行線を使うのが一番かきやすいな。 <p>7 活動の振り返りを書く。【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向かい合う辺が平行であることを使って平行四辺形をかくことができた。 ・向かい合う辺の長さが等しいことを使って平行四辺形をかくことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな平行四辺形のかき方の手順と方法について知るために、チームの代表者がかき方を説明するよう促す。 ◎「かき方に共通点はあるかな。」と問い、平行四辺形の定義や性質を生かしてかいていることに気付けるようにする。 ・積極的に発言する児童を称賛する。 ・学びを整理するために、発表で出たかき方から一つ選び、個人で平行四辺形をかくことを伝える。 ・振り返りをノートに書くように指示する。

- 4 評価
チームで話し合ったことを基に、平行四辺形の定義を生かして図形をかき、かき方を説明することができたか。
(活動4の様子、活動6、7の記述から)